



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 株式会社電算システムホールディングス

上場取引所 東名

コード番号 4072 URL <https://www.ds-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 領司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 柳原 一元

TEL 058-279-3456

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 14,596 | 23.5 | 1,186 | 94.1 | 1,186 | 45.0 | 773 | 37.6 |
| 2022年12月期第1四半期 | 11,822 | | 611 | | 818 | | 562 | |

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 819百万円 (44.3%) 2022年12月期第1四半期 567百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|----------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第1四半期 | 71.73 | |
| 2022年12月期第1四半期 | 52.14 | |

(注)1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2022年12月期第2四半期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年12月期第1四半期に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 74,175 | 20,289 | 27.1 |
| 2022年12月期 | 72,170 | 19,665 | 27.0 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 20,064百万円 2022年12月期 19,455百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | | 17.00 | | 18.00 | 35.00 |
| 2023年12月期 | | | | | |
| 2023年12月期(予想) | | 18.00 | | 19.00 | 37.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 62,500 | 16.9 | 3,900 | 14.2 | 3,912 | 9.1 | 2,643 | 12.5 | 245.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年12月期1Q | 10,790,199 株 | 2022年12月期 | 10,790,199 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年12月期1Q | 936 株 | 2022年12月期 | 936 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年12月期1Q | 10,789,263 株 | 2022年12月期1Q | 10,784,850 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2021年7月30日に行われた株式会社マイクロリサーチとの企業結合について、前第1四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第2四半期連結会計期間に確定しております。当該暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分の見直しが反映されており、前第1四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を用いております。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰、各国の金融引き締めに伴う景気の減速見通しなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。このような経営環境において当社グループは、「共創」で新たな価値を創造し、社会に貢献することを経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は145億96百万円(前年同期比23.5%増)、利益においては、営業利益は11億86百万円(前年同期比94.1%増)、経常利益は11億86百万円(前年同期比45.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億73百万円(前年同期比37.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報処理サービスにおいては、請求書作成代行サービスなどが堅調に推移いたしました。S I・ソフト開発においては、大手ゼネコン向けシステム、医療法人向けシステムなどの案件や、Google Workspace、Google Mapsなどのクラウドサービス分野が好調に推移し、また、情報セキュリティ商材も好調に推移した結果、売上が大きく伸びました。商品及び製品販売においては、自治体向けの大型案件 などにより売上が伸びました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は88億95百万円(前年同期比24.3%増)、営業利益は4億72百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

(収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業においては、前期から引き続いて新規獲得先の取り扱いが順調に推移しており、主力の収納・集金代行サービスにおいては、売上高が伸長するとともにスマートフォン決済利用の広がりもあり、またシステム運用の効率化等もあり利益も大きく伸長しております。引き続き今期の新規獲得は一般企業、自治体とも好調であり今後逐次稼働することから順調に推移すると見込んでおります。国際送金サービスについては、新型コロナウイルス、円安等の影響により個人送金市場は厳しい環境が続いておりますが、業績は概ね計画通りに推移しています。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は57億1百万円(前年同期比22.1%増)、営業利益は7億19百万円(前年同期は1億80百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して20億4百万円増加し、741億75百万円となりました。これは主に売掛金が6億25百万円、その他流動資産が2億22百万円減少したものの、金銭の信託が16億59百万円、現金及び預金が10億98百万円、ソフトウェア仮勘定が2億69百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して13億80百万円増加し、538億86百万円となりました。これは主に買掛金が5億25百万円、その他流動負債が3億55百万円減少したものの、収納代行預り金18億10百万円、賞与引当金が3億54百万円、受注損失引当金が1億23百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して6億23百万円増加し、202億89百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億79百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年2月10日の「2022年12月期 決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,530 | 13,628 |
| 金銭の信託 | 33,417 | 35,076 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 10,529 | 9,732 |
| 商品及び製品 | 924 | 960 |
| 仕掛品 | 429 | 467 |
| 前払費用 | 4,034 | 3,884 |
| その他 | 889 | 667 |
| 貸倒引当金 | △14 | △12 |
| 流動資産合計 | 62,740 | 64,404 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,462 | 1,434 |
| 土地 | 791 | 791 |
| その他（純額） | 636 | 651 |
| 有形固定資産合計 | 2,890 | 2,877 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,200 | 1,157 |
| 顧客関連資産 | 704 | 689 |
| 技術資産 | 180 | 174 |
| ソフトウェア | 503 | 474 |
| ソフトウェア仮勘定 | 153 | 422 |
| その他 | 0 | 0 |
| 無形固定資産合計 | 2,741 | 2,917 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,037 | 3,098 |
| 繰延税金資産 | 303 | 437 |
| 差入保証金 | 394 | 374 |
| その他 | 96 | 102 |
| 貸倒引当金 | △34 | △38 |
| 投資その他の資産合計 | 3,798 | 3,975 |
| 固定資産合計 | 9,430 | 9,770 |
| 資産合計 | 72,170 | 74,175 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,538 | 4,012 |
| 短期借入金 | — | 100 |
| 1年内償還予定の社債 | 7 | 7 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 494 | 462 |
| 未払法人税等 | 615 | 536 |
| 契約負債 | 5,604 | 5,706 |
| 収納代行預り金 | 36,727 | 38,537 |
| 賞与引当金 | 16 | 370 |
| 役員賞与引当金 | 26 | 7 |
| 受注損失引当金 | 81 | 204 |
| 株主優待引当金 | 39 | 37 |
| その他 | 2,190 | 1,834 |
| 流動負債合計 | 50,339 | 51,817 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 29 | 25 |
| 長期借入金 | 955 | 855 |
| 繰延税金負債 | 306 | 299 |
| 役員退職慰労引当金 | 445 | 418 |
| 退職給付に係る負債 | 105 | 110 |
| 資産除去債務 | 24 | 24 |
| その他 | 301 | 335 |
| 固定負債合計 | 2,165 | 2,068 |
| 負債合計 | 52,505 | 53,886 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,482 | 2,482 |
| 資本剰余金 | 2,656 | 2,656 |
| 利益剰余金 | 14,277 | 14,857 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 19,416 | 19,996 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40 | 69 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1 | △0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 39 | 68 |
| 非支配株主持分 | 209 | 224 |
| 純資産合計 | 19,665 | 20,289 |
| 負債純資産合計 | 72,170 | 74,175 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 11,822 | 14,596 |
| 売上原価 | 9,606 | 11,825 |
| 売上総利益 | 2,216 | 2,771 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,605 | 1,584 |
| 営業利益 | 611 | 1,186 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 0 |
| 持分法による投資利益 | 137 | 0 |
| 固定資産売却益 | 38 | — |
| 投資事業組合運用益 | 17 | — |
| 為替差益 | 0 | — |
| デリバティブ評価益 | 8 | 1 |
| 債務時効益 | 2 | 2 |
| その他 | 2 | 5 |
| 営業外収益合計 | 209 | 9 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 2 |
| 支払手数料 | 0 | 0 |
| 投資事業組合運用損 | — | 1 |
| 為替差損 | — | 3 |
| その他 | 0 | 1 |
| 営業外費用合計 | 3 | 9 |
| 経常利益 | 818 | 1,186 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 818 | 1,186 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 311 | 551 |
| 法人税等調整額 | △71 | △154 |
| 法人税等合計 | 240 | 397 |
| 四半期純利益 | 577 | 789 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 15 | 15 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 562 | 773 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 577 | 789 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △10 | 28 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 0 |
| その他の包括利益合計 | △10 | 29 |
| 四半期包括利益 | 567 | 819 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 552 | 803 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 15 | 15 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|----------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 情報サービス 事業 | 収納代行サー ビス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,154 | 4,668 | 11,822 | — | 11,822 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 5 | 0 | 5 | △5 | — |
| 計 | 7,159 | 4,668 | 11,827 | △5 | 11,822 |
| セグメント利益 | 428 | 180 | 608 | 2 | 611 |

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

2021年7月30日に行われた株式会社マイクロリサーチとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、前第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、「情報サービス事業」セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|----------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 情報サービス 事業 | 収納代行サー ビス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,895 | 5,701 | 14,596 | — | 14,596 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 19 | 0 | 19 | △19 | — |
| 計 | 8,915 | 5,701 | 14,616 | △19 | 14,596 |
| セグメント利益 | 472 | 719 | 1,191 | △4 | 1,186 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。